

みずほCustomer Desk Report 2018/08/14号(As of 2018/08/13)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.55
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	110.64	1.1395	126.09	1.2760	0.7287
SYD-NY High	110.95	1.1433	126.78	1.2791	0.7300
SYD-NY Low	110.11	1.1365	125.15	1.2731	0.7251
NY 5:00 PM	110.74	1.1409	126.32	1.2768	0.7273
NY DOW	25,187.70	▲125.44	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	7,819.71	▲19.40	日本10年債	0.0900	▲1.00bp
S&P	2,821.93	▲11.35	米国2年債	2.6103	0.40bp
日経平均	21,857.43	▲440.65	米国5年債	2.7457	0.00bp
TOPIX	1,683.50	▲36.66	米国10年債	2.8759	0.36bp
ソコ日経先物	22,050.00	▲135.00	独10年債	0.3095	▲0.80bp
ロンドンFT	7,642.45	▲24.56	英10年債	1.2525	1.00bp
DAX	12,358.74	▲65.61	豪10年債	2.5645	▲5.45bp
ハンセン指数	27,936.57	▲430.05	USDJPY 1M Vol	7.50	0.30%
上海総合	2,785.87	▲9.44	USDJPY 3M Vol	8.00	0.10%
NY金	1,198.90	▲20.10	USDJPY 6M Vol	8.20	0.15%
WTI	67.20	▲0.43	USDJPY 1M 25RR	-1.55	Yen Call Over
CRB指数	190.30	▲1.40	EURJPY 3M Vol	9.54	0.32%
ドルインデックス	96.39	0.03	EURJPY 6M Vol	9.65	0.28%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月13日		特に無し		

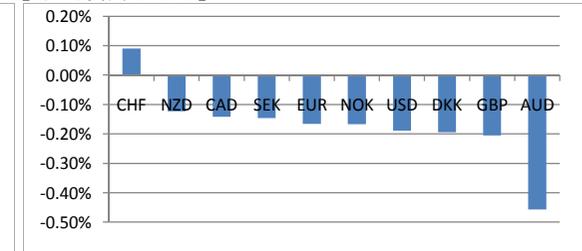
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月14日	10:30	豪 NAB企業調査(景況感/信頼感)	7月 -/-	15.0/6.0
	11:00	中 小売売上高(前年比)	7月 9.1%	9.0%
	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	7月 6.3%	6.0%
	15:00	独 GDP(前期比)・速報	2Q 0.4%	0.3%
	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	7月 0.3%/2.0%	0.3%/2.0%
	17:30	英 週平均賃金(除賞与/3ヵ月/前年比)	6月 2.7%	2.7%
	18:00	欧 GDP(前期比/前年比)・速報	2Q 0.3%/2.1%	0.3%/2.1%
	18:00	欧 鉱工業生産(前月比)	6月 -0.4%	1.3%
	18:00	独 ZEW調査(現状/期待)	8月 72.1/-21.3	72.4/-24.7
	18:00	欧 ZEW景気期待指数	8月 -	-18.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.00-111.30	1.1350-1.1500	125.50-127.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円相場は下に往って来いの展開となった。東京時間においてはトルコ問題を背景としたリスクオフの流れが継続し110円台前半まで下落。しかし、ポジション調整の動きや「トルコで拘束されている米国人牧師が15日までに釈放される」と一部で報じられたことやトルコ中銀が金融機関の流動性支援措置を発表したこと等から反発に転じ110円台後半まで上昇する展開となった。本日のドル円相場は上値の重い推移を予想する。引き続き注目はトルコ問題。昨日は米国人牧師釈放の観測が高まる報道があったものの、正式な発表は無し。混乱が続くトルコリラの動向についても依然として先行き不透明感が強い状況には変わりはない。かかる状況下、リスクセンチメントが大幅に改善することは期待しづらく、円買い優勢の展開を予想する。

アジア	新興国通貨安によるリスクオフの地合いが継続したことからドル円はオアフ時間に110.32まで下落し、110.64レベルで東京時間オープン。本邦はお盆休みの企業が多いことから薄商いで相場が振れやすい状況下、安寄りした日経平均株価が下げ幅を拡大するのを横目にドル円は110.14まで統落。その後は同水準での推移が続くも上値の重い展開となり、安値110.11を付け、110.33レベルでロンドンに渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は110.33レベルでオープン。東京時間のリスクオフ基調を引き継ぎ軟調に推移した。ドル円は110.16まで下落したものの、トルコ問題への懸念が後退した形でドル買いユーロ買いの流れになり、110.74まで反発し、110.58レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1399レベルでオープン。薄商いの中、リスクオフ基調で上値重たく推移したものの、トルコ問題の一般感から買い戻しが入り、1.1413まで上昇し、1.1405レベルでNYに渡った。(ロンドンオフ 00531 444 179 清)
ニューヨーク	海外市場ではトルコ経済情勢の悪化を背景に円全面高の展開となり、ドル円は110.11まで下落するが、NY早朝に「トルコで拘束中の米国人牧師が今月15日までに釈放される」と市場に伝わったことから(その後、駐トルコの米大使館がこの噂を否定)110.74まで反発し、110.58レベルでNYオープン。NY朝方は特段目立った経済指標の発表が無い中、トルコ中銀が直近の汚急落に対し「必要ならあらゆる措置を講じる」と積極的な対応姿勢を表明したため(ただし利上げについては言及なし)、リスク回避の円買いが一服し、クロス円の上昇につれて高値110.95まで上昇。しかし引き続きトルコを巡る懸念がくすぶる中、他の新興国のアセツも軒並み大幅安を記録。米株が前日比マイナスイクまで下落するのを横目にドル円は軟調推移となり、110.74レベルでクロス。なお本日はアルゼンチン中央銀行が5%の緊急利上げを行い、政策金利を年45%とすることを発表した。海外市場のユーロドルはユーロ円の下落につれて安値1.1365まで下落するが、上記の噂が市場に伝わったことからユーロの買い戻しが進み、1.1413まで反発し、1.1406レベルでNYオープン。NY早朝、本日高値の1.1433まで上昇。しかし欧州時間に「イタリアが年金支給開始年齢引き上げの法令を廃止を検討」と報道されており、トルコに加えイタリアの政局不安も注視される中、上値は重く1.1386まで反落。NY終盤は1.1400を挟み小動きとなり、1.1409レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 森谷・田家